



はじめに

(1) 背景と目的

粟国村は戦後急激な人口減少を経験し、基幹産業である農畜水産業の振興や保健・福祉・医療、教育・文化、交通・通信等の生活基盤の整備などに取り組んできました。しかしながら、現在もなお、村民の暮らし全般において離島環境特有の問題を抱えている状況にあります。

一方、粟国村は沖縄本島から比較的近距離にある島でありながら、リゾート開発等が行われず、豊かな自然や村民生活に息づく伝統文化など、数多くの地域資源が残っています。近年では「粟国・島あしび推進事業」による体験滞在交流プログラムの作成やインストラクターの養成、観光客の受け入れや交流の拠点となる粟国村体験交流施設「島あしび館」の整備や粟国村観光協会の設立など、粟国村観光につながる取り組みの強化が図られています。そうしたなか、村の基幹産業である農畜水産業と結びつけて展開する、観光・交流産業振興への村民の期待は強いものがあります。

21世紀は交流の時代です。交流を促進するのが観光であり、「交流」の世紀は「観光」の世紀といえます。我が国においては「観光立国行動計画」が平成15年に策定され、平成18年12月に観光立国推進基本法の制定、平成19年6月に観光立国推進基本計画が策定され、観光立国に向けた取り組みが進められています。

「観光立国」沖縄においては、観光産業は本県経済の自立的経済発展を担うリーディング産業として沖縄県の重要施策に位置づけられています。近年、沖縄県においては、質の高い沖縄観光の実現を図るため、体験・滞在型観光や離島観光の推進、平均滞在日数の延伸に重点をおいた施策の展開等を推進しているところです。また、「沖縄21世紀ビジョン」では、離島の新たな展開として独自の観光戦略を構築することを方向に挙げています。

このような時代の潮流をこれからの村づくりのエネルギーととらえて、粟国村行政として着実に観光振興を推進し、新たな就労の確保や交流人口の拡大に結んでいくことが重要です。粟国村観光の多彩な取り組みが芽生えはじめた時期だからこそ、粟国村が有する地域資源（島の宝）を最大限に活用しながら、地域の活性化を目的とした戦略的かつ実践的な観光振興施策を構築しなければなりません。その指針となる「観光振興計画」づくりに取り組むものです。

(2) 観光振興の意義と役割

観光は、「光を^み観る」という言葉通りに、地域のもつ優れた点が着目されて人の往来が活発になり、その魅力がさらに地域の暮らし全般の向上にも波及していくのです。今日の沖縄県の観光の姿は、日本復帰後、沖縄県が離島県の自立的経済発展を担うリーディング産業として観光振興に取り組んできた40年の営みの成果といえます。

粟国村も村の将来を見据えて、村民をあげて観光振興に取り組むことにより、「観光立県沖縄」の一翼を担い、村づくりニーズを実現していく活力としていくことが求められています。

① 観光による交流人口の流入を活力に

観光が伸びていくこと、それは人との交流が盛んになること。観光者は「客（きゃく）」であり、粟国の村民が「客を迎える主（あるじ）」である。「主が客をもてなす」その当たり前のことが「交流」であり、一番大切である。決して、粟国観光を主不在の観光にしてはならない。豊かな交流を育んでいくことが島の元気を生み出す。

② 観光による雇用の増大を活力に

観光が伸びていけば、直接に新たな雇用が生まれる。人口の減少に歯止めがかかり、新しい村民を迎え入れていくことになる。観光振興を果たしてきた他の離島を見れば明らかである。当然に、新しい課題も惹起してこよう。それを嫌がるのではなく、発展のために必要なハードルとして乗り越えていくことが活力を生み出す。

③ 観光による他産業への波及を活力に

観光産業は総合産業といわれる。関連産業のすそ野は実に大きい。観光客が求めるサービスや消費する食べ物や土産品など、それをできるだけ地域で供給していく。粟国の基幹産業である農水産業とどのようにリンクさせていくか、そのための知恵を絞り、行動を起こしていくことが更なる産業の連鎖を生み出す。

④ 観光による粟国の自然風土への評価を活力に

観光客の高い評価が粟国村の豊かな自然に寄せられる。自然の保護や保全は何もしないで放置しておくことではない。その価値を見出し、その価値の保全にふさわしい活用をしていくことこそが重要である。自然の魅力により深くふれてもらうこと、そのことによって優れた自然を保全する力を得るのである。

⑤ 観光による粟国の歴史文化への脚光を活力に

観光客は粟国の歴史文化に深く関心を寄せる。それは、この島の歴史が深いベールに包まれていると感じ取るから。また、伝統の祭事や御嶽などの聖域の^{けいけん}敬虔なあり様に心打たれるからだ。粟国村民の暮らしに根づいた歴史文化の香りは粟国の宝である。その宝に観光のスポットがあたること、それは島の誇りと自信に結ばれる。

(3) 計画策定の体制

本計画は、多くの村民や関係機関の参加と協力のもとに策定されました。その策定作業過程における連携の体制を示します。



